

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社中川電機製作所					
代表者名	氏名	中川 正人	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県佐久市中込3156番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	29 電気機械器具製造業				
主たる事業の概要	高圧配電盤及びキュービクル、低圧配電盤、分電盤及び各種制御盤の設計から製作及びアフターサービス。					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	48.94	48.50	55.17		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	98.35	97.30	107.88		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	2		2		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

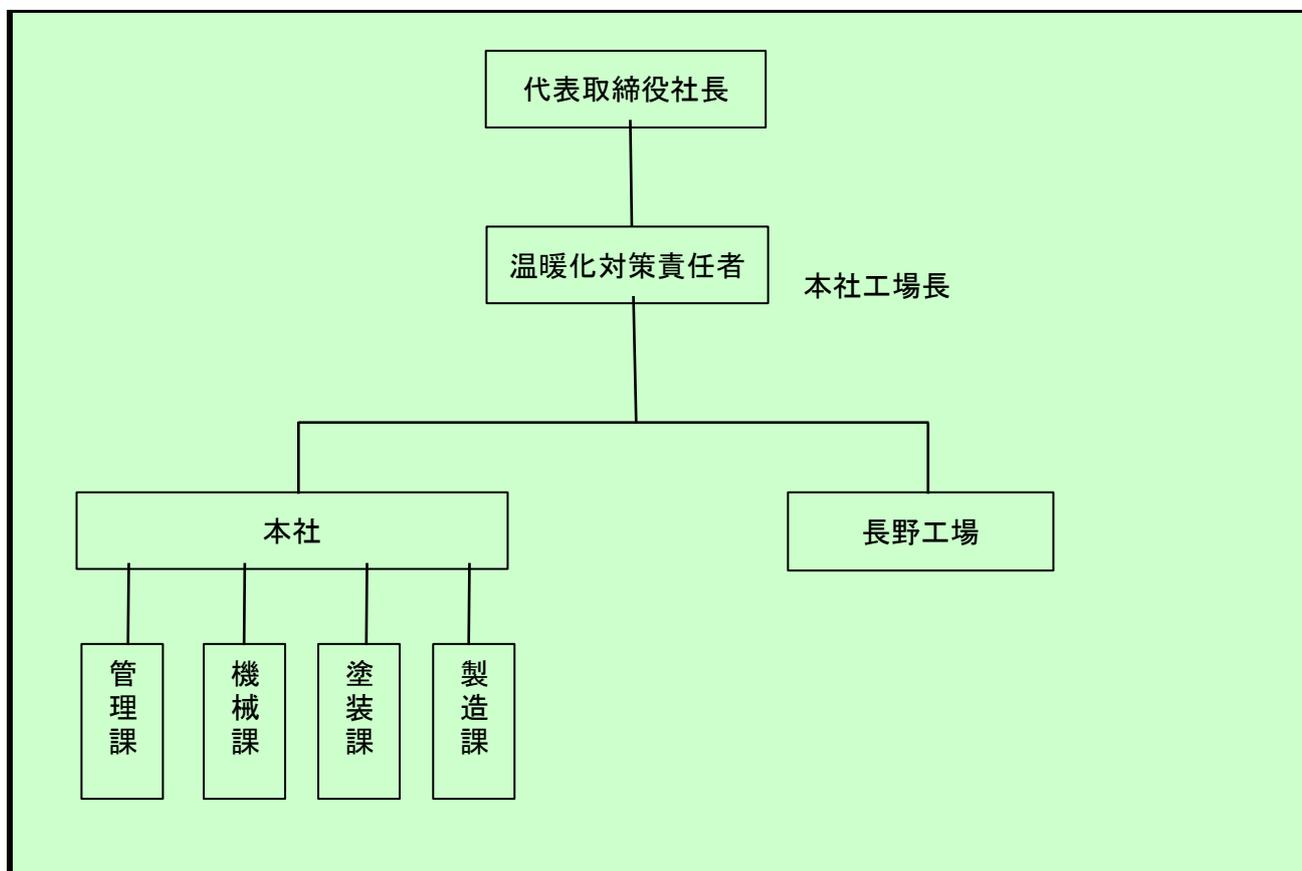
<input type="checkbox"/>	ホームページ	株式会社中川電機製作所 本社管理課 電話番号 0267-62-0910 営業時間 8:00～17:40
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

現代社会に欠くことの出来ない電気エネルギーを安全で便利に使用できる電気制御システムの製造を行うにあたり、温室効果ガスを抑制するための新エネルギー、省エネルギー機器を取り入れた環境配慮製品の提供。
生産過程で発生する温室効果ガスの基となる電力、灯油の使用量削減に向け、省エネ効率の良い設備への置き換えや製作工法の見直しを行い、使用量を抑え、PDCAサイクルを回し、環境に配慮した事業活動を行うことによる持続可能な循環型社会の構築に貢献する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

環境マネジメント推進会議（毎月及び必要の都度）

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	98.35	t-CO ₂	鋼材使用量	10.90	単位	万t
2021年度	調整後排出量	98.35	t-CO ₂	基準原単位	9.02	t-CO ₂ /	万t
目標年度	目標排出量	97.30	t-CO ₂	目標原単位	8.93	t-CO ₂ /	万t
2022年度	目標削減率	1.06	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ性能が向上した生産機器の導入を進める。 ・主要生産機器の電力量を監視し使用電力の削減を行う。 ・暖房効率を向上させ、電気エネルギーの活用も視野に灯油の使用量を削減する。 						
第一年度	排出量	107.88	t-CO ₂	鋼材使用量	36.92	単位	万t
	削減率	-9.69	%	原単位	2.92	t-CO ₂ /	万t
2022年度	調整後排出量	107.88	t-CO ₂	原単位削減率	67.62	%	
	削減率	-9.69	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ性能が向上した生産設備の導入が出来た、しかし導入が2023年2月となり報告年度のエネルギー削減に対しての貢献度合いは少なかった。 ・生産状況に改善が見られ、生産設備の電力使用量が約1.3倍に増加した、このため電力の削減に至らなかった。しかし、鋼材使用量に対するt-Co2にたいしては改善が見られた。 ・灯油の使用量は約13%強の削減が出来た。 						
第二年度	排出量		t-CO ₂	鋼材使用量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	鋼材使用量		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
一 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310200	機械の保守計画の策定	2022	0.4	2022	
2	エネ起	310300	生産設備ごとの電力量把握による省エネ基準の設定	2022	0.3	2022	
3	エネ起	330299	温度管理と細やかな運転停止による暖房用灯油使用量の削減	2022	0.35	2022	4.71
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備：本社	kW	50	0	50		

様式1号
(総括票)

1 0 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	98.35	2	107.88				
合計	2	98.35	2	107.88				

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1 2 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	0			
合計	0	0	0	0
自動車総数	2	2		
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	無し
自転車の利用促進	半径5km圏内の社員に対して、自転車通勤依頼の声掛け運動。
来客者の交通対策	訪問時の車両台数削減の要請。
物流の合理化	梱包の軽量化による輸送重量低減によるCO2削減。混載便による納品で輸送時のCO2削減。停車中のアイドリングストップ要請。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> ・2012(平成24)年本社工場：15kWレシプロ式コンプレッサーを多段式コンプレッサーに更新、レシーバータンクを増設しコンプレッサー運転停止改善を行い電力消費を約80%低減。 ・2015(平成27)年本社工場：照明蛍光管40W/118本、水銀灯HF250W/28台、水銀灯HF400W/28台をLED化 ・2021(令和3)年本社工場：高効率変圧器に更新
--